

V 報告内容

近年の環境の変化や国際交流基金の管理運用の見通しも勘案しつつ策定した「中期計画（R6～10年度の運営方針）」のもと、県・市町をはじめ県市町協会や外国人支援団体、その他関係団体等と更なる連携を深めながら「多文化共生の地域づくり」及び「次代を切り拓く国際交流」の推進に努めた。

1 多文化共生の地域づくりの促進

地域の実情に合わせた日本語教育の体制づくりを県・市町等と連携しながら進めるとともに、災害時等における外国人支援、地域のボランティア団体等と連携した居場所づくり、多言語に対応した総合相談センターの運営により、多文化共生の環境づくりを促進する。

(1) 外国人県民の地域での活躍を支える日本語教育の総合的体制づくり、生活相談体制の促進

ア 地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

(R6年度決算額 31,081 千円)(R5年度決算額 41,746 千円)【国補助等】

日本語学習を必要とする外国人県民が、身近な生活圏で日常生活に必要な日本語能力を身につけることができるよう、文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、兵庫県における日本語教育体制を整備

(ア) 兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり

① 総合調整会議の開催

市町、経済団体等による総合調整会議を県と共催で設置、県内の日本語教育体制づくりを推進

- ・時 期：令和6年6月6日（木）、令和7年1月21日（火）
- ・形 式：オンライン
- ・内 容：地域日本語教育の総合的な体制づくりにかかる事業計画、県内市町の事例紹介等

② 総括コーディネーターの配置

総括コーディネーター2人を配置し、総合調整会議を開催するほか、全県的な体制づくりのための事業を実施、市町による日本語教育の体制づくりを支援

③ 日本語教育アドバイザー（外部有識者）の活用

県内の日本語教育推進課題、事業内容や進め方について諮問

(イ) 地域日本語教室伴走支援事業（新規）

市町・市町国際交流協会からの要望を受け、新規教室の立ち上げ、既存教室の立て直し等に関して、アドバイスや必要とされる研修・講座の実施におけるサポートを実施

- ・実施市町：伊丹市、丹波市、播磨町

(ウ) 外国人県民対象日本語講座開催事業

広く全県を対象に、オンライン等の手法を取り入れながら、生活場面での対処能力を高めるための日本語教師による講座を開催

また、地域の日本語教室への知見の普及を図るため、見学者やサポーターを受け入れるほか、日本語教育の活動拠点として、日本語教育教材の収集・管理、調査・研究に資する日本語教育推進室を管理・運営

① 「外国人県民対象初級日本語講座」

- ・内 容：オンラインによる文型積み上げ型初級講座
- ・回数等：各クラス2時間×週2回×9週間×2期 72時間
- ・クラス：初級6クラス（A～F）
- ・受講者：117人
- ・時 期：第1期 令和6年5月20日（月）～7月22日（月）
第2期 令和6年11月11日（月）～令和7年1月27日（月）
- ・受講料：各期1,000円

② 「すぐに役立つ日本語講座」（集中日本語講座）

- ・内 容：生活場面と密着したコミュニケーション能力の向上に資する講座
- ・日数等：18日間 45時間
- ・クラス：2クラス（レベル別）
- ・受講者：15人
- ・時 期：令和6年9月5日（木）～10月2日（水）
- ・受講料：4,000円



すぐに役立つ日本語講座 ～図書館で利用登録をしてみよう～

(エ) 日本語学習支援人材育成事業

地域の実情に応じた日本語学習支援に向けた学習支援者、日本語教師、地域日本語教育コーディネーター等の人材を育成し、外国人県民の支援に役立つ研修を実施

① 生活者としての外国人県民への学習支援者対象研修

- ・時 期：令和6年10月19日（土）、11月2日（土）、11月9日（土）、
11月23日（土）、11月30日（土）
- ・形 式：オンライン
- ・回 数：全5回（2.5時間×5回）
- ・内 容：地域日本語学習支援の意義、支援者としての基本スキル等
- ・参加者：延べ151人

② 日本語教師対象研修

- ・時 期：令和6年12月11日（水）、12月18日（水）
- ・形 式：オンライン
- ・回 数：全2回（2時間×2回）

- ・内 容：地域日本語教室と日本語教師の役割
- ・参加者：延べ48人
- ③ 地域日本語教育コーディネーター育成研修
 - ・時 期：令和6年7月3日（水）・17日（水）・31日（水）、10月9日（水）
 - ・形 式：対面（7月17日のみオンライン）
 - ・回 数：全4回（対面4時間×3回、オンライン2時間）
 - ・内 容：地域の外国人住民や教室の課題整理、解決策や実践計画の作成、コーディネーターの役割の理解
 - ・参加者：11人、第2回（オンライン）19人
- ④ 日本語学習支援者 ICT 活用研修（日本語学校へ委託）
 - ・時 期：令和6年10月16日（水）・23日（水）・30日（水）、
令和6年11月6日（水）・13日（水）・20日（水）
 - ・形 式：オンライン
 - ・回 数：全6回（2時間×6回）
 - ・内 容：ICT 活用に関する基礎理解、学習支援への応用、ICT 教材の活用等
 - ・参加者：延べ152人
- ⑤ 地域日本語教育シンポジウムの開催

兵庫県で取り組む日本語教育や、国の動向、市町の役割等について理解を深めるため、市町・市町国際交流協会、日本語学習支援者、日本語教師、関係者等を対象に実施

 - ・時 期：令和6年8月8日（木）
 - ・形 式：オンライン
 - ・内 容：基調講演「行政と共に創る地域日本語教育を通じた多文化共生のまちづくりについて」、国の動向、兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業・県内市町の取組について報告
 - ・参加者：59人
- ⑥ 地域日本語教育活動実践持ち寄り会の開催（新規）

優良事例を共有し、横展開を図るとともに、団体や市町の枠を越えた緩やかなネットワークの構築を目指し、県内の日本語教室の実践報告及び意見交換を実施

 - ・時 期：令和7年1月18日（土）
 - ・形 式：対面
 - ・内 容：県内で日本語教室を実施している団体（8団体）のポスター発表、意見交換
 - ・参加者：発表者25人、参加者52人

（オ） 地域日本語教育向け教材の開発及び普及

HIA のオリジナル教材を元に、令和5年度に作成した「できる？できた!!くらしのにほんご入門版」（英語・中国語・ウルドゥー語）を順次多言語化。今年度はベトナム語版を作成、HP で公開

イ ひょうご多文化共生総合相談センターの運営

(R6年度決算額 40,483 千円) (R5年度決算額 36,087 千円) 【県委託等】

国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に基づき、法務省の支援を得て外国人県民への総合生活相談窓口機能を有するセンターとして県が設置する「ひょうご多文化共生総合相談センター」を運営。同センターでの生活相談は、平日は「外国人県民インフォメーションセンター」が実施し、週末はNGOと協働で「週末相談窓口」において実施

(ア) 外国人県民インフォメーションセンターの運営

医療、暮らし、社会保障、教育、労働など外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、5言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施

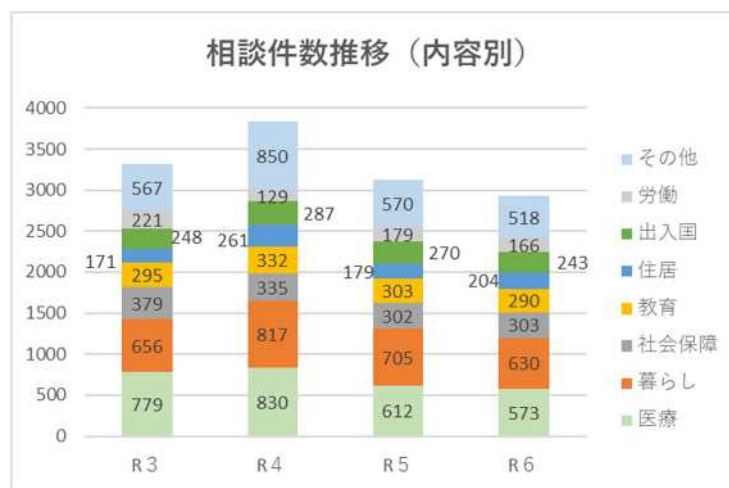
また、電話通訳及び翻訳アプリの活用により、ベトナム語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ネパール語等での対応を実施（合計22言語）

- ・開設時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00
- ・体制：センター長1人、相談員5人
- ・対応言語：（相談員）日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語
（電話通訳等）タガログ語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語

・相談件数：2,927件（令和5年度実績 3,120件）



外国人県民インフォメーションセンター



(イ) 週末相談窓口の運営

外国人県民インフォメーションセンターでの相談体制を補完する週末相談を、NGOと協働で、電話通訳及び翻訳アプリの活用により、同センターと同等の言語で対応（合計22言語）

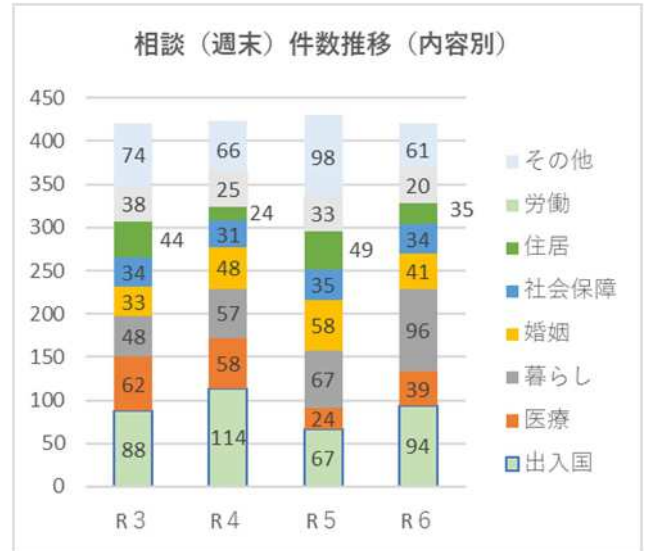
- ・実施団体：NGO 神戸外国人救援ネット
- ・開設時間：土・日曜日 9:00～17:00
- ・体制：専門相談員2人が電話通訳も活用して対応
- ・対応言語：（相談員）日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語

(電話通訳等) 韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、
ネパール語、ミャンマー語、クメール語、マレー語、
モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、フランス語、
ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語

・相談件数：420 件（令和5年度実績 431 件）



NGO 神戸外国人救援ネット



(ウ) NGO/NPO が行う夜間相談活動等の支援

- ・対象団体：NGO 神戸外国人救援ネット、NPO 法人篠山国際理解センター
- ・相談件数：294 件（2団体合計）

団体名	対応言語	相談日時	件数
NGO 神戸外国人救援ネット	英・スペイン・ポルトガル・タガログ語	毎週金曜 17 時～20 時	203
篠山国際理解センター	英・ポルトガル語	毎週水曜 13 時～16 時	91

ウ 外国人相談実務者地域会議の開催（新規）

(R6 年度決算額 94 千円)

在住外国人が各地域で増加し、日本語教室なども含め、外国人からの相談対応を担う人も増加している。そこで、日本語教室講師等も含め、外国人相談に対応している県内各地の実務者が、地域ごとに意見交換・情報共有を行い、外国人からの相談を受ける場合の心構えや関わり方などを互いに学び合うと共に、ネットワークを形成する場を提供

- ・時 期：6 月～11 月（各地域で2回ずつ開催）
- ・内 容：県内5地域(これまでから研修を実施している神戸地域を除く)で、10 人程度の実務者が集まる対面形式の会議を開催。各団体からの相談事例発表と参加者による意見交換、専門家による講義を実施
- ・参加者：27 団体・延べ80 人（HIA、市町国際交流協会、NPO、日本語教室等で外国人相談に対応している実務者）

(2) 公民連携による共生社会づくりを支える人材やプラットフォームの形成

ア 外国人県民・児童生徒の居場所づくり

(R6年度決算額 9,246 千円) (R5年度決算額 12,232 千円)

外国人県民・児童生徒が定期的集まることができ、地域社会で生活する拠点となるとともに、日常生活や緊急時のセーフティーネットとして機能する、外国人県民・児童生徒の「居場所」としての地域の母語教室、学習支援教室等の運営を行うボランティア団体等を支援

① 基本メニュー

◇児童生徒対象の母語・母語による学習支援教室の開催

・講座数：26 講座

◇地域日本語教室の開催

・講座数：19 講座

◇児童生徒対象の日本語・日本語による学習支援教室の開催

・講座数：22 講座

② 追加メニュー

上記基本メニューに加えて、地域のニーズに合った取組を実施

◇地域との交流活動事業の開催及び居場所としての機能に必要な取組

・事業数：5 事業

・事業例：地域の人との交流を図る多文化共生イベントや発表会等

◇外国人児童生徒の社会的・職業的自立を支える事業の実施

・事業数：4 事業

・事業例：先輩の体験談を聞き将来の目標を考えるワークショップ等

◇外国人児童生徒の進路・進学や未就学児童生徒等の学習（プレスクール）を支える事業の開催

・事業数：4 事業

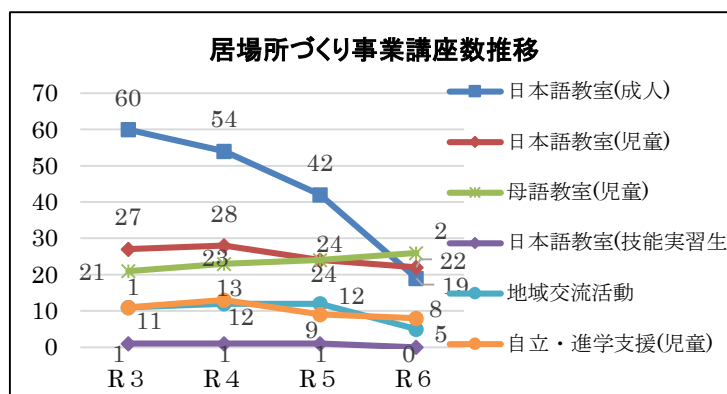
・事業例：入園・入学及び就学前の児童生徒のためのプレスクール教室等



がんばろう日本語（姫路市）



KFC 神戸定住外国人支援センター（神戸市）



イ 外国人コミュニティ活動支援事業

(R6年度決算額 4,181 千円) (R5年度決算額 4,765 千円)

外国人コミュニティによる母語教育等、身近な場所におけるきめ細やかな生活支援体制を構築し、外国人を含むすべての県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを促進

(ア) 外国人コミュニティ活動支援事業

外国人コミュニティによる母語センターを活用した活動及び母語による生活相談等の活動を支援

- ・対象団体：ベトナム夢 KOBE、一般社団法人ひょうごラテンコミュニティ、NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK

(イ) 海外移住と文化の交流センターへの支援

神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業を NPO 団体との協働で実施し、同センターの活用を促進

- ・内 容：多文化交流フェスティバルの開催
 - ① ブラジル移民祭
 - ・時 期：令和6年4月27日（土）
 - ・参加者：165 人
 - ② ブラジル・日本の子どもの絵の交流展
 - ・時 期：令和6年8月20日（火）～令和7年1月31日（金）
 - ③ サロンカーニバル
 - ・時 期：令和7年3月2日（日）
 - ・参加者：120 人

ウ HIA 日本語及び多言語 WEB サイトの運用・保守

(R6年度決算額 1,739 千円) (R5年度決算額 2,106 千円)

日本語 WEB サイト及び多言語 WEB サイトを通じて県内在住の外国人、支援者等に対する生活・講座情報等が円滑に発信できるよう、同システムの運用・保守を実施

- ・アクセス件数：330,522 件

エ 外国人県民向け多言語情報発信事業

(R6年度決算額 1 千円) (R5年度決算額 54 千円)

災害時等に緊急情報を多言語で情報発信できる体制を整備し、情報不足による外国人県民の不安を軽減

- ① 災害時・非常時等多言語緊急情報翻訳事業
災害時・非常時等の翻訳について、翻訳・通訳を専門とする団体・企業と契約を締結し、迅速に多言語による情報発信を行う体制を整備
 - ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL、株式会社イー・シー
- ② 多言語情報発信に係る関係団体との連携
 - ・多言語発信について関係機関（県警、サンテレビ等）と協力

オ 災害時外国人支援

(R6年度決算額 62 千円) (R5年度決算額 125 千円)

地域の国際化が進展する中、災害時に外国人住民が被災者となるケースも増加している。言葉や文化の違いから、災害時に必要な情報を得ることが難しい外国人住民もいることから、多言語支援センターの設置運営訓練の実施等、災害時に備えるとともに市町及び市町国際交流団体の取組を促進

① HIA 多言語広域支援センター設置運営訓練

多言語支援センター設置に関するノウハウを習得するため、訓練を実施

・時 期：令和6年10月3日（木）

・参加者：29 人

② 災害時通訳・翻訳ボランティア研修の実施

災害時に外国人への支援を行う人材を育成するため、研修を実施

a 第1回

・時 期：令和6年9月7日（土）13:30～16:30

・形 式：対面＋一部オンライン

・共 催：（公財）神戸国際コミュニティセンター、近畿地域国際化協会連絡協議会

・参加者：62 人

b 第2回

・時 期：令和7年2月1日（土）13:00～16:00

・形 式：対面＋一部オンライン

・共 催：（公財）神戸国際コミュニティセンター、JICA関西、近畿地域国際化協会
連絡協議会

・参加者：57 人



災害時通訳・翻訳ボランティア研修

③ 災害時外国人支援助成事業

県内の市町国際交流団体等が行政と連携して実施する災害時の外国人支援事業に対して助成する制度を設置

カ ウクライナ避難民への支援

(R6年度決算額 12,211 千円) (R5年度決算額 12,790 千円)

県内在住の親族・知人等を頼ってウクライナから本県に一時避難した方々が安心・安全に過ごすことができるよう、生活準備及び日常生活への支援を実施

(ア) ウクライナ避難民生活支援金の支給

支援の段階に応じて、一時宿泊支援金、入居準備支援金、生活維持支援金を設定し、ウクライナ避難民に支援金を支給

- ・支援実績：3世帯 1,940千円

(イ) ウクライナ避難民への日常生活支援コーディネート事業

ウクライナ避難民向けに相談窓口を設置し、生活に関する相談を受け付け、課題解決のために、各種支援機関・市町等との調整を図り、避難民の暮らしへの日常の支援（同行通訳や翻訳等を含む）を実施

- ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL
- ・支援実績：日常支援 101 件、生活相談 123 件

(ウ) ウクライナ避難民対象日本語講座

地域での継続的な支援を視野に入れ、その前段階としての地域住民との交流に最低限必要な入門期の日本語学習を「外国人県民対象日本語講座開催事業」と連携して実施

- ・受講者数：2人

(エ) 公民連携プラットフォームひょうごウクライナ避難民支援サイトの運営

ウクライナ避難民が安全・安心に過ごすことができるよう、日常生活や就労に関し、県・市町・企業等が支援の輪を広げる公民連携プラットフォーム特設サイトを令和4年4月に開設。3年が経過し、県内への新たな避難民が大幅に減り、支援の内容にも変化が見えたことから、令和7年3月末で運営を終了

- ・登録数：52 法人・団体

(オ) 県内ウクライナ避難民自立移行支援事業（新規）

避難生活の長期化を見据え、避難民が自立した県内生活を目指せるよう支援

① 社会参画・共助のきっかけ作りの場の提供

避難民及び支援団体等が参加できるウクライナ語等による SNS のグループ（Facebook：Ukrainians in Hyogo）を作成し、避難民・地域・支援団体等を繋げ、社会参画・共助のきっかけとなる場を提供

- ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL
- ・更新回数：129 件

② コミュニティ形成促進事業

避難民同士及び支援団体が対面で交流する場を提供することにより、避難民の孤立化を防ぐとともに、横の繋がりを維持し、ウクライナ避難民のコミュニティ形成の機運を醸成

- ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL
- ・内容：避難民向けバスツアー・交流会、避難民による文化紹介
- ・件数：7 件

- ③ ウクライナ避難民グループによる地域との共創事業
 支援団体とウクライナ避難民グループが主体となって実施する事業やイベント等を支援
 ・助成団体：4団体 1,027 千円



ハンドクラフト交流会 (CODE)



ウクライナ料理会 (KFC)

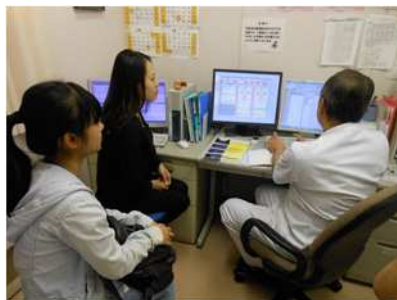
- ④ ライフプランセミナー
 日本での避難生活が長期化し、今後避難民が県内で生活する上で必要な情報（一般生活、就学、経済面、医療制度等）についてのセミナーを開催し、自立へのスムーズな移行を支援
 ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL
 ・件数：5件

キ 医療機関における外国人患者受入環境の整備

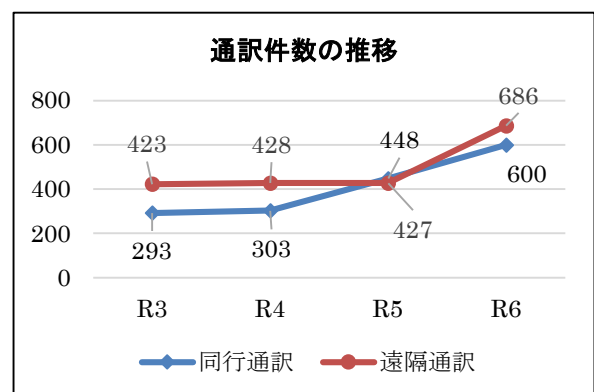
(R6年度決算額 3,001 千円) (R5年度決算額 3,000 千円)

医療機関における外国人患者受入環境を整備するため実施する医療通訳コーディネーターの配置に伴う人件費及び遠隔地通訳システム構築に要する経費の一部を助成

- ・対象：医療通訳コーディネーター機関(市町国際交流協会、NPO 等)
- ・対象事業：医療通訳コーディネーターの配置、遠隔地通訳支援システム構築
- ・医療通訳利用件数：同行通訳 600 件、遠隔通訳 686 件



同行通訳対応



(3) 県内各地域の取組みを幅広い世代が相互に学び、連携する仕組みづくり

ア 多文化共生を考える研修会の開催

(R6年度決算額 1,282 千円) (R5年度決算 1,280 千円)

外国人県民と接する機会の多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等が、多文化共生について理解を深めることができる研修会をNPO等と協力しながら開催

- ・時 期：令和6年8月19日(月)、21日(水)、23日(金)、26日(月) (計4日)
- ・形 式：1～3日目オンライン開催、4日目対面
- ・対象者：行政職員、教員、日本語教師、ボランティア、外国人支援NGO等
- ・実 績：①80人 ②89人 ③96人 ④43人 計308人

同行通訳対応

時 期	テーマ
8月19日(月)	総論～エンタメの力～ ○映画を通して日韓をつなぐ ○移民・マイノリティと世界の映画
8月21日(水)	外国にルーツを持つ子どもの教育 ○「外国ルーツの子どもたち」支援を軸とした多文化都市創生のための実証調査報告 ○外国ルーツの高校生を取り巻く現状と課題～それぞれができることを考える～
8月23日(金)	入管法をめぐる問題 ○入管法に設けられた「補完的保護」について ○日本の難民申請と審査の課題
8月26日(月)	当事者の発信 ○当事者研究を「多文化共生」に位置づける必要性 ○ルーツをラップでシャウトしよう！



多文化共生を考える研修会

イ 国際交流団体等ネットワークの構築

(R6年度決算額 883 千円) (R5年度決算額 1,033 千円)

県内の国際交流団体が有するノウハウや情報の共有、有効活用を図るネットワークを構築し、団体相互の連携を推進するため、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」(HIA、県内36市町の国際交流協会及び準会員5町で構成)の活動を支援するとともに、「ひょうご国際交流メールマガジン」を広く配信するなど、情報発信を実施

① 総会及び講演会

a ひょうご国際交流団体連絡協議会 総会

- ・時 期：令和6年5月21日（火）
- ・場 所：国際健康開発センター9階会議室
- ・参加者：42 団体中 23 団体（19 団体は委任状による出席）

b 講演会

- ・講 師：兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター、兵庫県立ピッコロ劇団、（特非）小野市国際交流協会
- ・内 容：演劇を活用した多文化共生の地域づくり

② 情報共有・発信

a ひょうご国際交流メールマガジンによる各団体のイベント情報の掲載

- ・発出回数：12 回

③ 人材育成事業

a 通訳・翻訳ボランティア研修

- ・時 期：令和6年10月19日（土）
- ・場 所：三宮研修センター
- ・参加者：6 団体 16 人

b テーマ別研修会・講演会

- ・時 期：令和6年11月27日（水）
- ・場 所：三宮研修センター
- ・形 式：対面＋オンライン
- ・内 容：能登半島地震から学ぶ災害時の外国人支援
- ・参加者：27 団体 48 人（協議会会員以外も含む）

c 「やさしい日本語」講師の派遣

- ・派遣回数：3 団体 4 回

d 国際交流・多文化共生の担い手育成事業への助成

- ・交付決定件数：4 件（12 月現在）

④ 啓発・普及事業

a 地域別意見交換会による情報共有

- ・実施回数：各地域1回（6 地域）

b 会員紹介冊子の発行（年1回）

⑤ 表彰事業（草の根国際功労賞）

- ・個 人：4 人
- ・団 体：2 団体



総会（草の根国際功労賞授賞式）



受賞者（兵庫県立ピッコロ劇団）によるワークショップ

2 次代を切り拓く国際交流の推進

県内市町・団体等と連携した国際交流や国際会議の開催を通じて、県民の国際理解の促進及び国内外の人的交流の推進を図り、幅広い世代での国際交流を進めるとともに、教育機関との連携等により将来を担う若年層が海外や地域の共生社会づくりに興味を持ち、グローバル社会で挑戦する契機を創出する。

(1) 築いてきたネットワークや交流基盤を生かし、次世代の若者が主体となる新たな交流を創出、育成

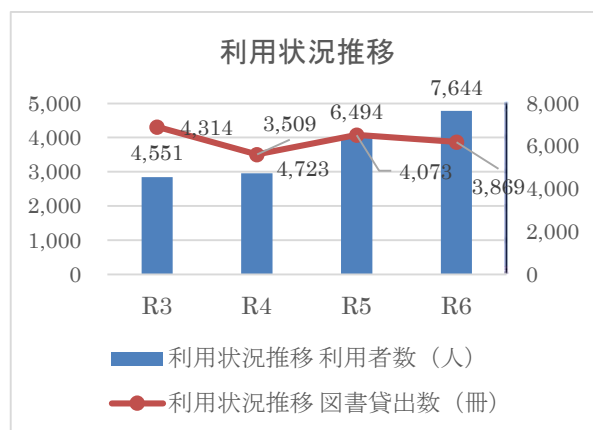
ア ひょうご国際プラザの管理・運営

(R6年度決算額 136,418 千円) (R5年度決算額 131,618 千円) 【県委託費等】

各種国際関係情報の提供やNGO等と連携した展示など国際交流等の場として設置している「ひょうご国際プラザ（図書館・交流ギャラリー）」を管理、運営

・利用実績

区分	令和5年度	令和6年度	対前年度比
来館者数	6,494 人	7,644 人	118%
貸出冊数	4,073 冊	3,869 冊	95%
交流ギャラリー展示件数	8 件	5 件	63%
図書館イベント	5 件	20 件	400%



カナダ公開セミナー
大阪・関西万博のカナダパビリオンでカナダを知ろう！」



情報センター夏祭り

イ 兵庫県海外事務所の運営

(R6年度決算額 146,598 千円) (R5年度決算額 156,022 千円) 【県委託等】

兵庫県の国際戦略を推進するための拠点として、海外における友好交流、経済交流、観光交流事業を展開するため、兵庫県ワシントン州事務所、兵庫県パリ事務所及び兵庫県香港経済交流事務所を県からの委託を受け管理・運営

① 経済交流事業の展開

ひょうご産業活性化センターとの連携により、現地事務所のネットワークを生かして、地場製品の海外販路開拓など県内企業の現地活動を支援。また、海外の経済発展を本県の新たな経済成長に取り込むため、外国・外資系企業の県内への誘致を促進

② 観光交流事業の展開

観光フェア等への出展やセミナーの開催など様々な機会を捉えて、現地の政府関係者・旅行業関係者などに対して本県及び万博関連事業をPRすることで、外国人観光客の誘致などインバウンドを促進

③ 友好交流活動の展開

友好・姉妹州省を中心とする世界の各地域と双方の課題解決に向けた交流を推進するため、市町レベル・県民レベルの交流支援のほか、兵庫のプレゼンスを高めるための日本文化紹介事業の開催、学校間交流やスポーツ交流など、広範囲にわたる友好交流活動を展開

④ 草の根ネットワークの構築

海外事務所の円滑な運営を図るため、現地関係者・団体等とのネットワークを構築し、人材活用など相互に協力を行う。また、ワシントン州では、これまでの文化活動を通しての草の根活動を継続し、南米では本県出身者の現地コミュニティ活動を支援

⑤ 南米との交流促進事業

南米地域との交流事業を展開するため、現地連絡員をパラナ州クリチバに設置し、友好ネットワークの維持・発展

⑥ 中小企業の海外展開支援など海外事務所の取組を国際フロンティア産業メッセ等(国際展示場、令和6年9月5～6日)等で紹介

区 分	兵庫県ワシントン州事務所	兵庫県パリ事務所	兵庫県香港経済交流事務所
設置国	アメリカ合衆国	フランス共和国	中華人民共和国
設置都市	シアトル	パリ	香港
設置時期	平成2年5月1日	平成5年10月1日	平成24年10月1日
担当エリア	北米・中南米	ヨーロッパ・中東・アフリカ	中国・ASEAN 諸国 インド・大洋州
職 員	4人 県職員1人 派遣職員(神戸市)1人 現地職員2人	3人 県職員1人 協会職員1人 派遣職員(神戸市)1人	3人 県職員1人 派遣職員(民間企業)1人 現地職員1人
他団体との連携	- 各事務所長はひょうご海外ビジネスセンター参与(経済交流担当)を兼務 - 県立大学の現地事務所 - 関西広域連合共同事務所として位置付け - ワシントン州事務所は神戸大学海外拠点も担う		



〔兵庫県ワシントン州事務所〕
第9回ジャパン・フェア



〔兵庫県パリ事務所〕
Japan Tours Festival



〔兵庫県香港経済交流事務所〕
香港ブックフェア

ウ ひょうご国際ネットワーク強化事業（新規）

（R6年度決算額 309 千円）

兵庫県の友好・姉妹提携先等から交流担当職員を受け入れ、本県への理解促進を図るとともに新たな人的ネットワークを形成することで、将来に向けた本県の国際ネットワーク強化と交流を促進

- ・受入実績：1地域1人（ドイツ シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州政府国際担当職員）
- ・研修内容：本県の国際施策・その他研修員の担当分野に係る施策の説明及び視察、交流推進のため特に必要と思われる施策の説明及び視察、交流推進のための意見交換・発表等



県立国際高等学校授業風景

エ ひょうごホームステイ受入の調整

（R6年度決算額 154 千円）（R5年度決算額 35 千円）

県内に滞在する外国人に兵庫の魅力を知ってもらうとともに、外国人及び受入家庭の双方が異文化に対する理解を深め、交流を活発化できるよう、ホームステイを希望する外国人のマッチング等を実施

- ・対象：HIA の関係団体、HIA が実施する各種青少年交流プログラム参加者、県内大学等の留学生で大学から受入れ依頼があった者
- ・登録数：79 家庭
- ・受入実績：2件6人（受入延べ家庭数 12 家庭）

オ 草の根の国際交流の推進

(R6年度決算額 406 千円) (R5年度決算額 878 千円)

次世代の若者をはじめ海外からの学生や訪問団等の受入、HIA、JICA 関西、大学コンソーシアムひょうご神戸との3機関連携を活用した事業展開の機会を通じて、県民が主体となった草の根の国際交流や多文化共生づくりを進めるとともに、新たな担い手の人材育成を行うなど積極的に実施

a 次世代若者等の受入、講師派遣実績

- ・ひょうごトライやるウィーク：2人（中学2年生）
- ・神戸大学の県ワシントン州事務所へのインターシップ：1人
- ・大学コンソーシアムひょうご神戸インターンシップ：2人（留学生）
- ・3機関連携リレー式インターンシップ：6人（日本人学生3人・留学生3人）
- ・いなみ野学園への講師派遣
- ・ひょうご若手地域農業リーダー育成研修事業（高校生8人をブラジルに派遣）への講師派遣

b 海外からの訪問団の活動支援

- ・土日基金防災研修団：12人〔トルコで防災を学ぶ高校生が兵庫県を訪問し、県立高校2校の高校生と交流活動を実施〕
- ・土日基金ふれあい合唱団：13人〔トルコから来県した合唱団がJICA 関西秋祭りで神戸市立中学生とともにふれあい音楽会を実施〕
- ・香港大学工学部：28人〔香港大学教育旅行団が来県し「住みやすく持続可能な未来」をテーマに県内企業や施設を視察〕
- ・香港写真家の取材グループ：8人〔香港の写真家が来県し、県内の文化財等を撮影〕



トルコ防災研修団



香港大学工学部

c 友の会の運営

- ・友の会会員証の交付（151人）
- ・広報誌（Come HIA）の配布
- ・協会が主催または後援する行事等の案内 等

カ 国際協力セミナーの開催

(R6年度決算額 36 千円) (R5年度決算額 15 千円)

開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際支援・協力団体等と連携して、セミナーやフォーラムを開催。今年度よりJICA 関西、大学コンソーシアムひょうご神戸とともに、3機関連携事業として企画・実施

＜テーマ＞ わたし流の世界との繋がり

a 第1回「自分流で世界と繋がる」

- ・時 期：令和6年9月27日（金）19:00～20:30
- ・形 式：オンライン
- ・参加者：100人
- ・内 容：3機関それぞれのスタッフが国際協力や多文化共生の仕事に就いたきっかけや魅力を体験談を交えて紹介

b 第2回「今日から実行！世界と繋がる活動」

- ・時 期：令和6年10月26日（土）14:00～15:35
- ・形 式：対面（4テーブルに分かれたグループディスカッション）
- ・参加者：35人
- ・内 容：第1回オンラインセミナー登壇者を中心にグループに分かれ、事例の課題解決を議論



オンラインセミナー



グループディスカッション

キ 民間国際交流事業への助成

（R6年度決算額 1,555 千円）（R5年度決算額 933 千円）

県民による国際交流活動を育成・奨励するため、先駆的・先導的な国際交流事業に助成

- ・助成額：助成対象経費の1/2（上額10万円）
- ・対 象：県内で国際交流活動に継続的に取り組むNGO/NPO等の非営利団体が行う国際交流事業
- ・交付件数：20件、1,508,435円



日台軟式野球交流会（西宮市軟式少年野球連盟）

ク 国際会議開催への助成

（R6年度決算額 6,119 千円）（R5年度決算額 9,947 千円）

県内への国際会議誘致を促進するため、会議開催費の一部を助成

- ・件 数：4件、6,115千円

ケ 国際会議場の活性化への支援

(R6年度決算額 303 千円) (R5年度決算額 300 千円)

国内外のさまざまな人々との交流・体験できる「こころづくり絵画コンクール」を美しい自然環境に囲まれた淡路夢舞台国際会議場を会場に、株式会社夢舞台などと共催により開催

- ・時 期：令和6年10月6日（日）
- ・参加者：639 人（うち外国人 73 人）

(2) 優れた取組みを県内市町・団体等が情報共有し、相互に学びあえる仕組みづくり

ア ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト

(R6年度決算額 6,589 千円) (R5年度決算額 10,145 千円)

「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体等と連携して、HIA 内に配置した兵庫県国際交流員（CIR）が地域での国際交流イベントで「ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト」として企画立案し参加することにより、各地域団体の活性化、ネットワーク強化を促進

- ・回 数：17 回

派遣日	依頼元	実施イベント名等
令和6年4月21日	猪名川町国際交流協会	教えてあなたの国のこと
令和6年6月8日	高砂市国際交流協会	国際交流講演会
令和6年5月26日	播磨町国際交流協会	国際交流 IN HARIMA
令和6年7月7日	豊岡市国際交流協会	インターナショナルデー2024 但馬万博
令和6年8月4日	播磨町国際交流協会	子どもインターナショナルデー
令和6年9月21日	西宮市国際交流協会	NIA 地域っこクラブ
令和6年9月29日	伊丹青年会議所	WORLD TOUR IN ITAMI
令和6年10月20日	加古川市国際交流協会	加古川市民交流ひろば
令和6年10月26日	淡路市国際交流協会	英語であそぼう～ハロウィン会～
令和6年10月27日	姫路市文化国際財団	第26回ひめじ国際交流フェスティバル
令和6年11月23日	三田市国際交流協会	Friendship Day in SANDA
令和6年11月24日	三木市国際交流協会	ぐるっとワールド in Miki
令和6年12月8日	たつの市国際交流協会	WAO!楽しもう 国際交流フェスティバル2024
令和6年12月14日	宝塚市国際交流協会	宝塚市外国人日本語スピーチ大会
令和7年1月12日	神戸国際コミュニティセンター	楽しもう、ニッポンのお正月
令和7年2月2日	洲本市国際交流協会	Kids workshop
令和7年2月15日	豊岡市国際交流協会	TIA 春節祭

イ 広報紙（Come HIA）の発行

(R6年度決算額 1,496 千円) (R5年度決算額 1,656 千円)

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行し、県民の国際感覚の醸成及び国際理解の促進を図る。また、外国人県民に向けて、英語版、中国語版、韓国語版（いずれも電子版）を発行

- ・発行時期：令和6年10月、令和7年3月
- ・発行部数：各号5,000部

エ 関係団体への支援

(各団体会計で計上)

兵庫 EU 協会、日本国際連合協会兵庫県本部、JICA 海外ボランティアひょうご応援団、兵庫県ユニセフ協会、国際防災・人道支援協議会（DRA）等の活動を支援することにより、国際問題や国際協力への関心を喚起するとともに、新たな交流のきっかけづくりとする

① 兵庫EU協会（事務局として支援）

a 兵庫EUセミナー「～EUの現在とこれから～」

- ・時 期：令和7年1月16日（木）
- ・場 所：兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス
- ・内 容：駐日欧州連合代表部トーマス・ニョッキ公使/副代表を招き、EUの成り立ちと概要、EUの気候変動対策そしてEUと大阪・関西万博についてセミナーを実施
- ・参加者：約170人



EUセミナー（トーマス・ニョッキ氏の講演）

② 日本国際連合協会兵庫県本部（事務局として支援）

a 兵庫県立大環境人間学部 SDGs 推進室「多文化理解ゲーム」のブース出展支援

- ・時 期：令和6年10月26日（土）
- ・場 所：JICA 関西
- ・内 容：ゲームを通してSDGsや多文化理解を進める
- ・参加者：30人



SDGs多文化理解ゲーム

b ワークショップ難民への支援

時 期	テーマ	参加者
7月 3 日 (水)	難民とは	14 人
7月 10 日 (水)	難民になるということ	7 人
7月 24 日 (水)	難民と私	12 人

c 難民問題セミナーへの支援

時 期	テーマ	参加者
11 月 13 日 (水)	ガザの今を通してパレスチナを知る	40 人
11 月 27 日 (水)	日本の難民認定制度 現状と課題	63 人
12 月 4 日 (水)	ミャンマーで何が起きているのか	55 人
12 月 11 日 (水)	ウクライナ避難民支援の現状について	39 人



難民セミナー

d 防災教育イベント「イザ!美かえる大キャラバン!2025」への共同出展

- ・時 期：令和7年1月26日(日)
- ・場 所：JICA 関西
- ・内 容：ゲームを通して防災知識を学ぶ
- ・参加者：58 人



イザ!美かえる大キャラバン! ブース出展

③ JICA 海外ボランティアひょうご応援団（事務局として支援）

a 国際協力入門セミナーの共同開催（再掲）

b JICA ボランティア派遣者激励

- ・時 期：令和6年4月16日(火)、7月23日(火)、11月7日(木)

(3) 次世代層が地域で国際理解を高め、グローバル社会で挑戦する契機の創出

ア 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援

(R6年度決算額 11,248 千円) (R5年度決算額 9,888 千円)

訪日教育旅行において重視されている学校交流等を県内において促進するとともに、若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫ファンづくりを図るため、教育委員会・学校・地域等における受入体制の推進に向けた調整等を実施

また、訪日教育旅行における学校交流に係る企画・調整や、学校現場と訪問団の円滑な交流の実現に向けた取組を推進

① 学校交流等受入実績

- ・形 式：対面及びオンライン（対面交流 31 件、オンライン交流 137 件、視察 4 件）
- ・実 績：172 件（台湾 84、韓国 52、米国 26、中国 4、香港 2、インド 2、カナダ 1、ニュージーランド 1）

3,938 人

② プロモーション

a 関西 5 府県訪日教育旅行セミナー

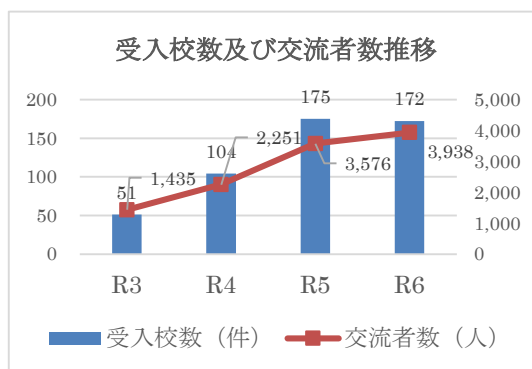
- ・時 期：令和 6 年 12 月 3 日（火）

b <台南 400> 記念日台教育交流研修

- ・時 期：令和 6 年 12 月 7 日（土）～10 日（火）



韓国の高校生と囲碁による交流



イ オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施

(R6年度決算額 767 千円) (R5年度決算額 506 千円)

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施

- ・時 期：令和 6 年 7 月 18 日（木）～8 月 25 日（日）
- ・受入学生：3 人
- ・受入団体：神戸女子大学、神戸大学附属中等教育学校、神戸女学院大学、関西福祉大学
JETS ACADEMY、県立鳴尾高校、市立伊丹高校
- ・参加者：延べ 207 人

ウ 外国人学校交流の推進

(R6年度決算額 1,228 千円) (R5年度決算 1,313 千円)

外国人学校に通う児童生徒が兵庫県内の自然とのふれあいや地域住民との交流を通し、地域、ひいては兵庫県への理解を深めることを目的に、外国人学校が実施する自然学校等の事業に対し助成

- ・対象者：外国人学校
- ・助成額：助成対象経費の1/3（上限：428千円／校）
- ・内 容：1泊2日以上 の県内自然交流施設等での体験学習
- ・件 数：6校9事業（1泊2日7事業、2泊3日2事業）

エ 外国語指導助手(ALT)を活用した人材の育成

(R6年度決算額 152,524千円) (R5年度決算 152,524千円)

外国語指導助手(ALT)を活用して、英語教育の充実を図るとともに、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、豊かな語学力、コミュニケーション能力を身に付け、国際的に活躍できるグローバル人材を育成

- ・配置校：全ての兵庫県立高等学校（全日制）
- ・内 容：海外姉妹校等の共同学習、高校生の海外留学の指導補助、学校及び地域の国際交流活動の指導補助等の事業に必要な経費の一部を負担

オ 留学生への兵庫の魅力のPRと自己学習・交流促進事業

(R6年度決算額 178千円) (R5年度決算 0円)

兵庫県への関心を高め、県民との交流機会を創出するとともに、留学生の学習活動を支援するため、博物館、美術館等施設の入場料等の優待、割引を受けることのできる「ひょうごカルチャーパス」を県内の大学等で学ぶ外国人留学生に配布

- ・対象者：兵庫県内の大学・大学院、短期大学、日本語学校、専門学校等で学ぶ外国人留学生
大学・大学院・短期大学31校、高専1校、市立高校1校、私立高校5校、専修学校11校、日本語学校30校 総数19,110枚

《その他事業》

1 外国人コミュニティ活動支援事業	〔再掲〕
2 医療機関における外国人患者受入れ環境整備	〔再掲〕
3 国際会議開催への助成	〔再掲〕
4 国際会議場の活性化への支援	〔再掲〕